



# 志高く!

教育目標  
「志高く 遅しく 切り拓く」  
生徒会スローガン  
「麻生中ABCD+」  
「考・動・皆・志」

◆麻生中学校だより◆  
Tel 80-8070  
Fax 77-0840  
http://www.sopia.or.jp/n-asojh/  
行方市南327の3  
令和3年1月20日発行  
令和2年度 第24号

## ◆3年生へ受験のお守りを!◆

年が明け、学校が再開して3週目となりました。新型コロナウイルス感染症対策が強化される中ですが、当初の予定どおり私立高校の入試が始まり、3年生にとっては、本格的な受験シーズンの到来となりました。受験に向かう3年生を少しでも勇気づけることができると、昨年に続き、今年も地域の方が、「ヤマコウバシ」を届けてくださいました。「ヤマコウバシ」は、下の説明書き(※昨年の本便りでもご紹介しました。)にも記したとおり、寒さが増し、周りの落葉樹が既に葉を落としている状況でも、葉を落とすこと無く、新芽が出て春先に花が咲いた段階で初めて葉を落とすという特性をもった植物です。このことから、「運が落ちない、花が咲くまで落ちない、縁起が良い」木とされ、受験生のお守りとして配っている神社もあります。今年、堀江先生、志藤先生、箕輪さんが、この葉を入れたお守りを心を込めて作ってくれました。また、この様子は、茨城新聞社の取材を受け、左のように、1月19日付けの「県内総合」に掲載されました。

完成したお守りは、20日の学年集会にて3年生各学級の代表に手渡しました。このお守りが3年生の実力プラスαの効力を与え、素晴らしい結果につながることを祈っております。頑張れ、3年生!!

務員や事務職員ら=行方市立麻生中



### 「落ちない」葉でお守り

行方麻生中 職員作成、3年生に贈る

春にはサクラが咲きますように。行方市南の市立麻生中(栗原秀雄校長)で18日、用務員や事務職員らがヤマコウバシの葉を使ったお守りに汗を流した。

ヤマコウバシは落葉樹だが、冬でも葉が「落ちない」ことから縁起が良いとされる樹木。受験シーズンが本格化する中、お守りは3年生全員に贈られる。ヤマコウバシを使ったお守り作りは2年前、栗原校長の前任校である神栖三中で始まった。学校に季節の

木々を届けてくれる知人からヤマコウバシの話を聞き、お守りを配ることを思い立った。翌年に麻生中へ転任した際もお守り作りは継続し、同中としては2年目の取り組みという。

ヤマコウバシの葉は和紙の台紙に乗せ、サクラの花をかたどった色紙とともにラミネート加工される。完成したお守りは3年生の集会で栗原校長から代表者に手渡される予定。製作に携わった志藤有紀事務係長(47)は「頑張る姿を見ているので、努力が実



### ◆ヤマコウバシ(山香ばし)◆

さわやかな香りから、「山で香ばしい」を連想させ、そのことが名前の由来となったといわれています。

この木は枯れているのではなく、「新芽が出るまで、枯れ葉が落ちないで冬を越す。そして、花が咲いたら葉が落ちる。」という特徴をもった不思議な木なのです。

寒い冬でも葉が落ちないので、「運が落ちない、縁起の良い木」とされており、受験生のお守りとして、配っている神社もあるほどです。

麻生中の受験生の皆さんも、この木にあやかって粘り強く頑張り、「合格」という素敵な花を咲かせてくださいね!



「茨城新聞」  
1月19日掲載記事より

を結んでくれたらいい」  
願っていた。  
(石川孝明)



## ◆「いばらきっ子郷土検定」県大会出場権を獲得したものの…◆

茨城県では、平成25年度から、子供たちの郷土を愛する心の醸成を図るため、県内すべての中学2年生を対象に、「いばらきっ子郷土検定事業」を実施しています。この郷土検定は、自分たちが住んでいる市町村や茨城県の歴史・伝統文化、そして、現在の茨城県の姿を理解し、優しさや思いやりをもつ、強くたくましい子供たちを育成することを目的としています。

10月20日に各校で行われた市大会を見事勝ち抜き、来る2月6日、水戸市の「ヒロサワシティ会館」で開催予定の県大会に、麻生中が行方市の代表として出場することになっていました。右写真の生徒が、市大会の結果、見事1級に輝き、代表選手に選出された皆さんです。しかし、今回の緊急事態宣言に伴い、開催が中止されてしまいました。確実に準備を進めてきただけに残念でありませんが、頑張ったことは必ず実となっているはずで、これからも、様々な面で活躍されることを期待します。

